



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	北海道大学におけるシステマティックレビュー支援：始まりとその先
Author(s)	川村, 路代
Description	第15回学術情報ソリューションセミナー2019 in SAPPORO. 令和元年7月12日. 札幌医科大学記念ホール, 札幌市.
Issue Date	2019-07-12
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/76425
Rights(URL)	https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/
Type	conference presentation
File Information	SolutionSeminar2019Sapporo_Kawamura.pdf



北海道大学における システムティックレビュー支援 始まりとその先

川村 路代

Michiyo Kawamura

北海道大学附属図書館 研究支援課 医系グループ
ヘルスサイエンス情報専門員(基礎)

✉ mkawamura@lib.hokudai.ac.jp

2019/07/12 第15回 学術情報ソリューションセミナー2019 in SAPPORO

What's

文献検索相談・代行サービスとは

概要

国内外の文献データベースを用いた先行研究調査を
図書館スタッフが研究者に代わり行う人的支援サービス

2016年7月正式スタート

医学部・歯学部・保健学科のスタッフ3名が担当

URL

<https://www.lib.hokudai.ac.jp/med/search/>

代行検索の始まり

きっかけは利用者アンケート

システマティックレビューのための
文献検索のサポートは可能でしょうか？

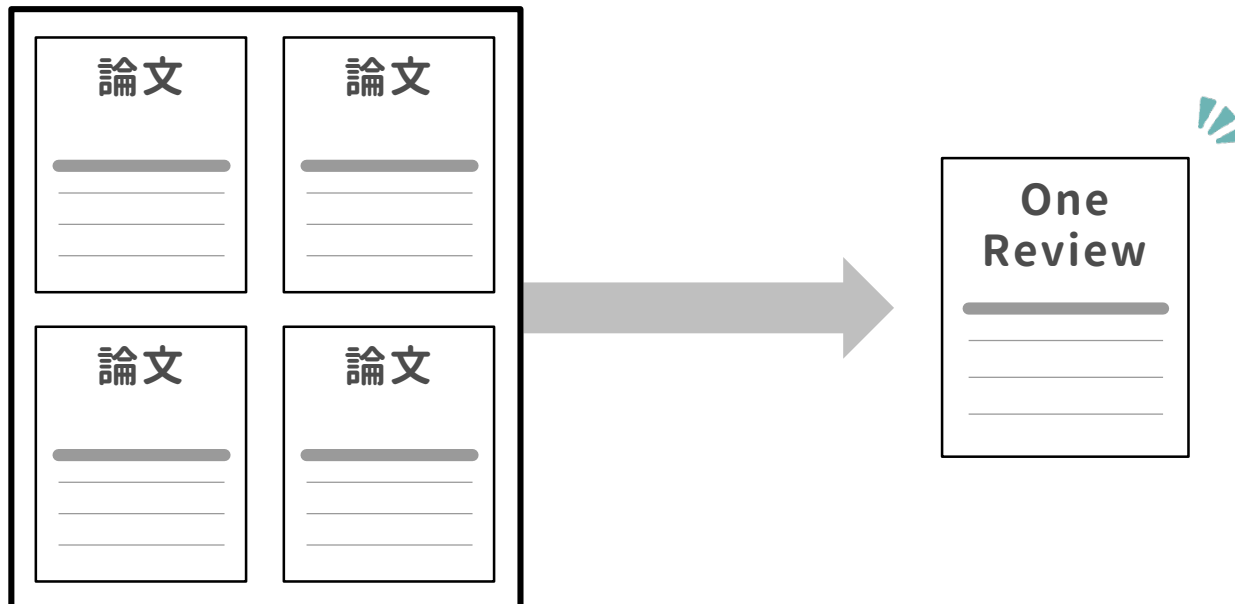


研究者

What's

システマティックレビューとは

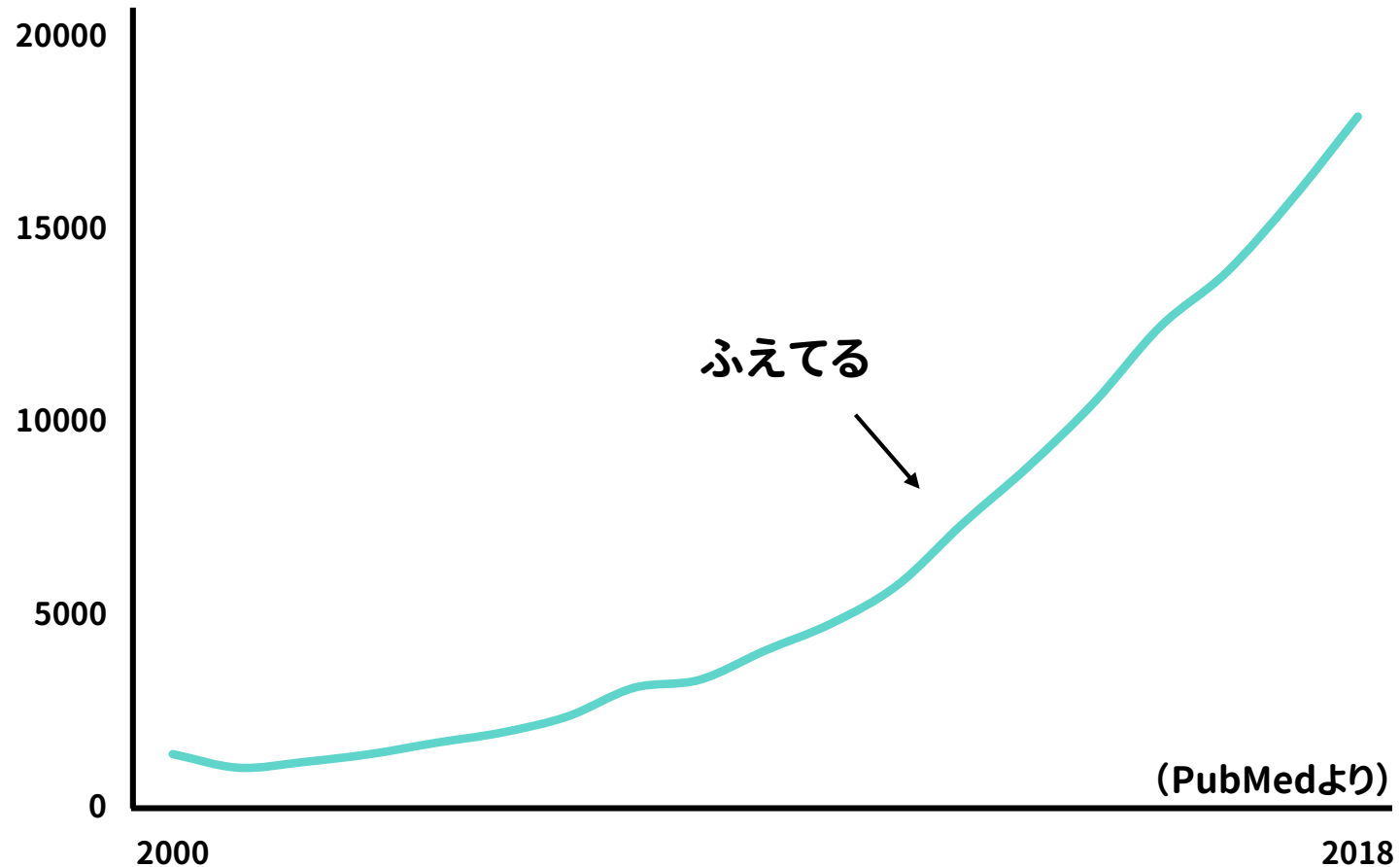
クリニカルクエスチョン (clinical question) に対して
研究を網羅的に調査し、同質の研究をまとめ、
バイアスを評価しながら分析・統合を行うこと*



* “Minds診療ガイドライン作成マニュアル2017 第4章 システマティックレビュー | Mindsガイドラインライブラリ”.
https://minds.jcqhc.or.jp/s/guidance_2017_4_h, (参照 2019-06-18).

Increasing tendency

システムティックレビューの数



Cf.

似たものに 診療ガイドライン

患者と医療者の意思決定を支援するために
最適と考えられる推奨を提示する文書

作成プロセスにおいて
システマティックレビューを
利用/作成

日本医学図書館協会(JMLA)で
ガイドライン作成のための
文献検索業務を学会から受託
(2019.6現在 受付停止中)

インタビューを上司へ報告したところ

JMLA北海道地区総会の議題に

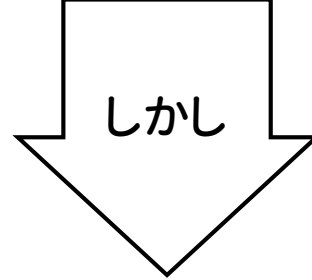
医学図書館員が取り組むべき今日的課題であり

積極的に勧めるべき



JMLA地区研修会(2014.8)

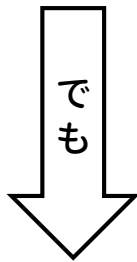
システマティックレビューをテーマとした研修会の実施



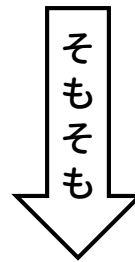
スキル不足

なにをどう
進めれば…?

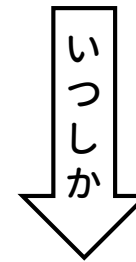
当事者意識の薄れ



日常業務では
培われない



依頼がないと
実践も積めない



自分の手から
離れたような気に

しばらく停滞することに...(反省)

結局

先生からの再度の声かけにより
大学院生のシステマティックレビュースタディに参加(2015夏)

準備したこと

JMLA総会分科会*に
協力員として参加

JMLA主催の
講習会**に参加

人脈づくり

文献で勉強

*第86回日本医学図書館協会総会 分科会C1『Minds診療ガイドライン作成の手引き2014』を学ぶ」

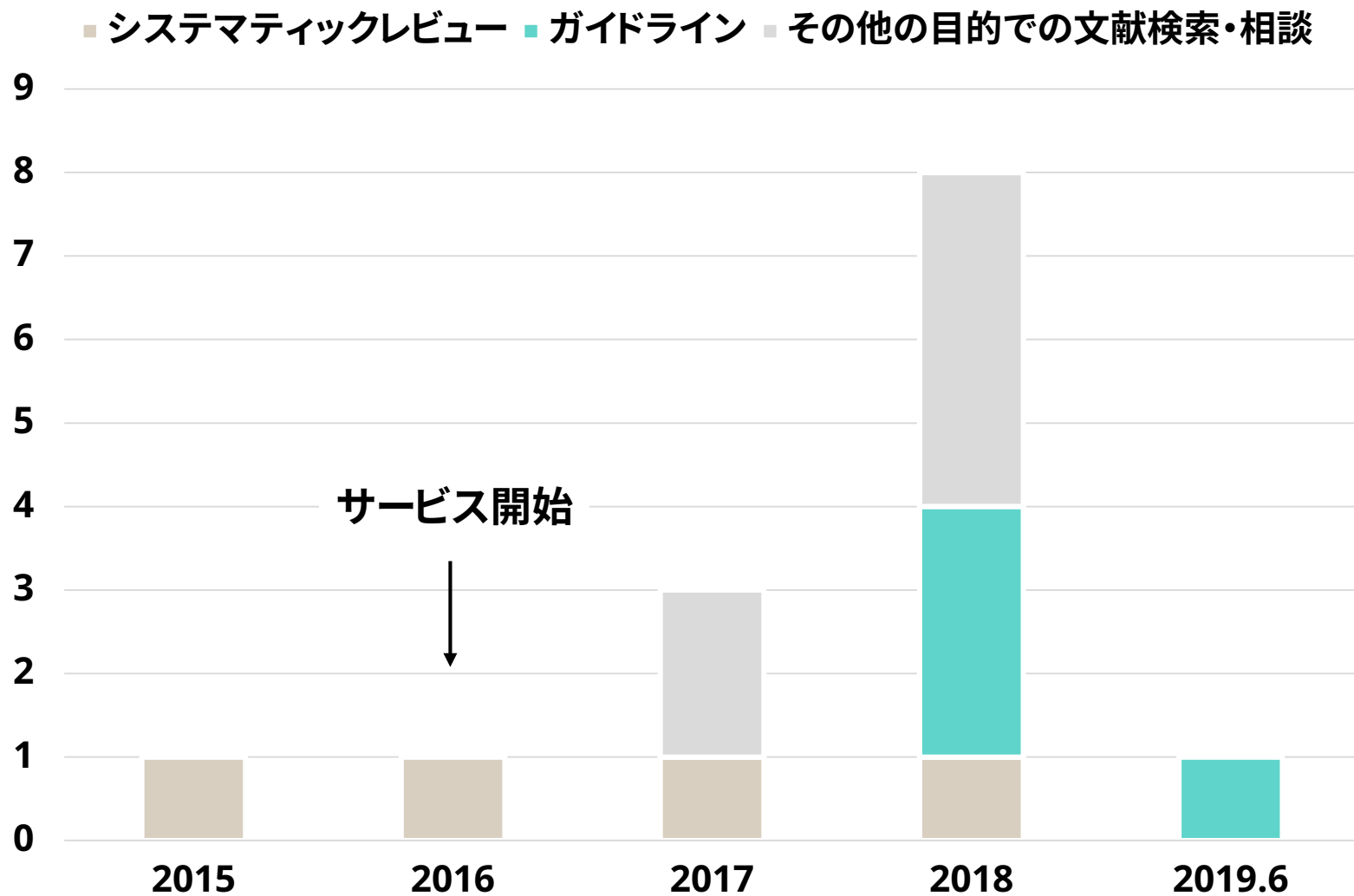
**JMLA文献検索講習会(上級)(現在の「診療ガイドライン文献検索ワークショップ」)

その後、正式にサービスとして可視化

代行検索の今

Statistic

利用状況



Process

システマティックレビュー作成のプロセス

エビデンスの収集

スクリーニング

個々のエビデンスの評価

エビデンス総体の評価

レポートの作成

Process

代行検索のプロセス

エビデンスの収集



研究者

申し込み

打ち合わせ

フィード
バック

検索式の
提案

文献情報の共有



図書館

事前調査

Pre-survey

事前調査

CQの確認 /
PICOによる
定式化

疾患・治療法
背景・用語

ガイドライン
旧版

既知文献・
類似のレビュー

MeSH /
キーワードの
確認



Process

代行検索のプロセス

エビデンスの収集



研究者

申し込み



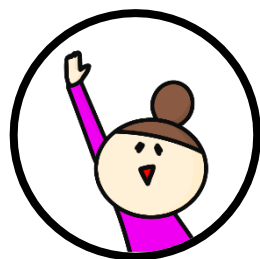
打ち合わせ



フィードバック



文献情報の共有



図書館

事前調査



打ち合わせ



検索式の提案



文献情報の共有

Meeting

打ち合わせ

スケジュール

文献情報の
共有方法

疑問点の
解消

その他

共著者・謝辞 / 協力者として
名前と所属を記載してもらえようお願い

Process

代行検索のプロセス

エビデンスの収集



研究者

申し込み

打ち合わせ

フィード
バック

検索式の
提案

文献情報の共有



図書館

事前調査

Example

ADHD治療薬の中止に関するガイドライン(2018)

使用データベース

PubMed / The Cochrane Library / EMBASE*

*北大で契約がないため他機関へ出張

成果

日本精神神経学会学術総会シンポジウム発表(2019.6)

論文化も予定(図書館員が共著者・謝辞へ)

S89-5

ADHD 薬物治療の出口戦略を考える

○齊藤 卓弥¹、辻井 農亜²、宇佐美 正英³、桑原 秀徳⁴、藤田 純一⁵、根来 秀樹⁶、川村 路代⁷、
飯田 順三⁸、岡田 俊⁹

¹北海道大学病院児童思春期精神医学研究部門、²近畿大学医学部精神神経科学講座、

³国立国際医療研究センター国府台病院、⁴医療法人せのがわ瀬野川病院、

⁵横浜市立大学大学院医学研究科精神医学部門、⁶奈良教育大学教育学部障害児医学分野、

⁷北海道大学附属図書館研究支援課医系グループ、⁸奈良県立医科大学医学部看護学科、

⁹名古屋大学医学部附属病院親と子どもの診療科

Search Strategy

検索式の提案

ADHDのキーワード表(抜粋)

概念

注意欠如・多動症

検索語

Attention Deficit Disorder with
Hyperactivity/drug therapy[MH]

ADHD[TIAB]

ADDH[TIAB]

AD/HD[TIAB]

:

担当者が
それぞれ考え
突き合せ

Search Strategy

検索式の提案

検索式(抜粋)

#1	(Attention Deficit Disorder with Hyperactivity/drug therapy[MH] OR ADHD[TIAB] OR AD/HD[TIAB] OR AD-HD[TIAB] OR ADDH[TIAB] OR attention def* [TIAB] OR "brain dysfunction" [TIAB])	34810
#2	Withholding Treatment[MH:NoExp] OR Placebo Effect[MH]	14982
#3	(drug*[TIAB] OR Pharmacotherap*[TIAB] OR medication*[TIAB] OR "Central Nervous System Stimulants" [MH] OR stimulant[TIAB] OR "non-stimulant" [TIAB] OR "Adrenergic alpha-Agonists" [MH] OR "alpha adrenergic agonist" [TIAB] OR "alpha adrenergic receptor" [TIAB] OR "Dopamine Uptake Inhibitors" [MH] OR "dopamine reuptake inhibitor" [TIAB] OR "norepinephrine reuptake inhibitor" [TIAB] OR "dopamine releaser" [TIAB] OR "Amphetamine" [MH] OR Amphetamine*[TIAB] OR "Atomoxetine Hydrochloride" [MH] OR atomoxetine[TIAB] OR Clonidine[TW] OR Methylphenidate[MH] OR Methylphenidate[TIAB] OR Dexmethylphenidate[TIAB] OR lisdexamfetamine[TW] OR guanfacine[TW])	1758504
#4	(withdr*[TIAB] OR discontinu*[TIAB] OR abstinence[TIAB] OR avoid*[TIAB] OR ceas*[TIAB] OR cessation*[TIAB] OR remov*[TIAB] OR stop*[TIAB] OR Withhold*[TIAB] OR continu*[TIAB] OR maintenance*[TIAB])	2306248

Search Strategy

検索式の提案

先生とのやりとりの例

Q. 検索の対象とする薬物は？

A. 国内外で承認を受けている薬物としてください

Q. 薬剤の商品名も検索語に含めた方がよいですか？

A. 商品名は不要です

わからない
ことは
確認する

Process

代行検索のプロセス

エビデンスの収集



研究者

申し込み



図書館

事前調査

打ち合わせ

フィード
バック

検索式の
提案

文献情報の共有

EndNote

文献情報の共有

Clarivate
Analytics

EndNote™ basic マイレファレンス 文献の収集 分類 引用文献リスト作成 投稿ジャーナルの推薦 オプション ダウンロード

クイックサーチ

検索:
対象 すべてのマイレファレンス
検索

マイレファレンス
すべてのマイレファレンス (9514)
[未整理] (500)
クイックリスト (0)
ごみ箱 (1646) なし
▼マイグループ
01_PubMed_0801高感度RCT (621)
02_CochraneTrials_0801 (3040)
03_EMBASE_0921RCT (2831)
04_EMBASE_0921Cohort (1012)
05_EMBASE_0921RCT_EMBASEonly (984)
06_EMBASE_0921Cohort_EMBASEon... (526)

TRACK YOUR CITATIONS
Claim your researcher
profile on Publons

P

01_PubMed_0801高感度RCT

50 件/ページ

◀ ◻ ページ 1 / 13 GO ▶ ▶▶

☐ すべてのページ

グループに追加...

クイックリストにコピー

削除

グループから削除

並び替え: 第一著者

著者	年	タイトル
☐	1999	A 14-month randomized clinical trial of treatment strategies for attention-deficit/hyperactivity disorder. The MT Group. Multimodal Treatment Study of Children with ADHD Arch Gen Psychiatry ライブラリに追加: 01 Aug 2018 最終更新日: 01 Aug 2018 北大図書館 Full Text Navi
☐	2002	Treatment of ADHD in children with tics: a randomized controlled trial Neurology ライブラリに追加: 01 Aug 2018 最終更新日: 01 Aug 2018 北大図書館 Full Text Navi
☐	2004	National Institute of Mental Health Multimodal Treatment Study of ADHD follow-up: 24-month outcomes of treatment Pediatrics ライブラリに追加: 01 Aug 2018 最終更新日: 01 Aug 2018 北大図書館 Full Text Navi 全文
☐	2004	National Institute of Mental Health Multimodal Treatment Study of ADHD follow-up: changes in effectiveness at end of treatment Pediatrics ライブラリに追加: 01 Aug 2018 最終更新日: 01 Aug 2018 北大図書館 Full Text Navi 全文
☐	2005	Randomized, controlled, crossover trial of methylphenidate in pervasive developmental disorders with hyperactivity Arch Gen Psychiatry ライブラリに追加: 01 Aug 2018 最終更新日: 01 Aug 2018 北大図書館 Full Text Navi 全文
☐	2010	Atomoxetine. Attention-deficit/hyperactivity disorder: no better than methylphenidate Prescribe Int

24/31

代行検索のその先

User's voice



JMLAの受託事業は
いっぱい断られてしまいました



無料でいいのですか？



質の高さに感心しました

Features

代行検索サービスの特徴

多くの利用者に
浅く

コレクション

スペース

対象

研究者個人に
深く

図書館員

提供するもの

情報・助言

図書館員を貸し出す

Skills & Competencies

必要なスキルとコンピテンシー

文献検索

基礎的な
医学的知識

研究デザイン・
統計

英語

コミュニケーション能力

これらを磨き 能動的に待ち受ける

Challenge & barriers

課題

人材育成

マニュアル作成

人事異動のリスク

業務評価

定量的な評価 難

時間効率？

研究者への教育

文献検索や
作成プロセスを
図書館がどこまで
教育？

Benefits

得られるもの

研究者

- 文献検索にかかる負担・時間減
- 質と中立性の向上
- 文献検索・管理の知識向上

図書館

- 被引用の多い論文の生産に貢献
- 若手研究者支援
- ステークホルダーの理解
- プレゼンス向上
- レファレンス件数増加
- 別サービスへの波及

Keep Rolling

まとめ

誰かをあてにしているも前には進まない

十分に準備することは大事

でもときには学びながら走ることも大事

困ったら先人に頼ろう

サービスを可視化するのも大事

研究者とのさらなるコラボレーションのために

今後チームの実力をさらにつけていきたい